

# 品番 78450 丸ノコガイド定規 フリーアングル ワンタッチ 1m

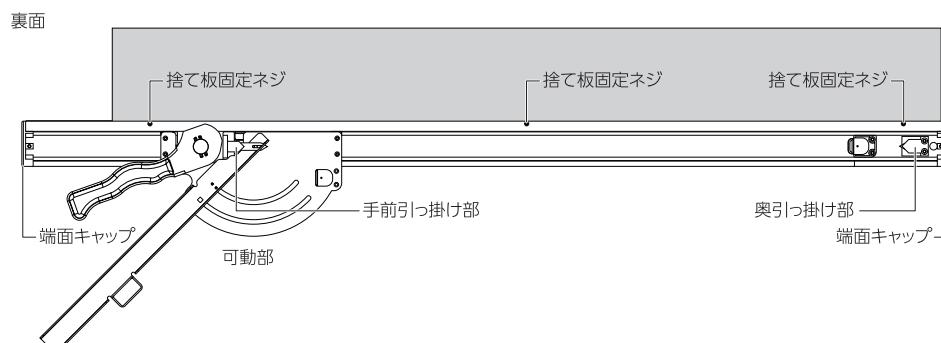
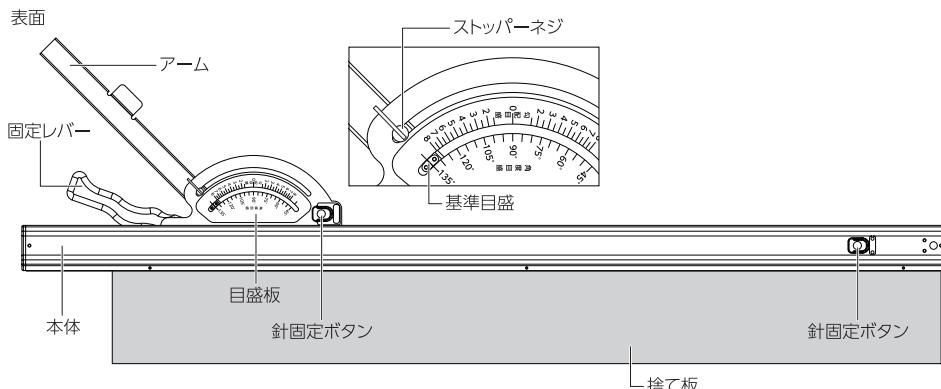
## ■用途

- 電気丸ノコで板材に角度をつけて切断するときのガイド定規に。

## ■特長

- ガイド定規を材料にワンタッチで固定できます。
- 固定も解除もワンタッチでできます。
- 材料にガイド定規がガッチリ固定されるので、両手で電気丸ノコが使えます。
- 読み取りやすい勾配目盛付です。
- 透明ポリカーボネート板で切り出し位置が良く見えます。
- 石膏ボードなどのやわらかい材料には針を押し込むことで固定できます。

## ■各部の名称



## △ 警 告

- 針が飛び出す恐れがあります。手や指を刺さないように注意してください。

## △ 注 意

- 用途以外には使用しないでください。
- アルミは温度変化で伸縮しやすいため、精度を要する長さの測定には使用しないでください。  
※伸縮率 常温20°Cを基準として10°C変化に対して、1mにつき約0.235mmの伸縮が生じます。
- 本製品をぶつけたり、落としたり、乱暴な取り扱いはしないでください。
- ボードの側面が平坦なところで使用してください。
- ボードとアームの側面に隙間のないように当ててください。隙間があると正確に切断できません。
- 切断する材料自体を動かさないように固定してください。材料が動くと直ぐに切れない場合があります。
- 滑りやすい面、細かい凹凸がある面、汚れている面では固定が効かなくなることがあります。
- 電気丸ノコの切り込み深さを調整後、モーターなどの突出部と本製品が接触しないことを確認の上、使用してください。
- 本体に直接電気丸ノコの刃を当てて切らないでください。
- 部品の紛失に注意してください。
- 固定レバー、ネジなどは無理に回さないでください。故障の原因となります。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 動きが悪くなった時は、可動部の清掃を行ってください(■可動部の清掃方法参照)。
- 濡れたまま放置するとサビることがあります。また、強い酸やアルカリ性の液体などを付着させないでください。付着した場合は、すぐに水洗いをして、水分をよく拭き取ってください。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤や油に長時間浸けておかないでください。目盛が落ちたり、部品が変形する恐れがあります。
- 運搬の際、アームをストッパーねじで固定してください。振動により目盛板とアームのかみ合わせが狂い、破損の原因となります。
- 弊社は、本製品に関連して生じたお客様および第三者の結果的損害、付随的損害、逸失利益などの間接損害について、それらの予見または予見可能性の有無にかかわらず一切の責任を負いません。ただし、弊社に故意または重過失が存する場合はお客様が消費者契約法上の消費者に該当する場合は、この限りではありません。本製品の使用に関し弊社が損害賠償責任を負う場合、本製品の代金相当額を限度額として賠償責任を負うものとします。

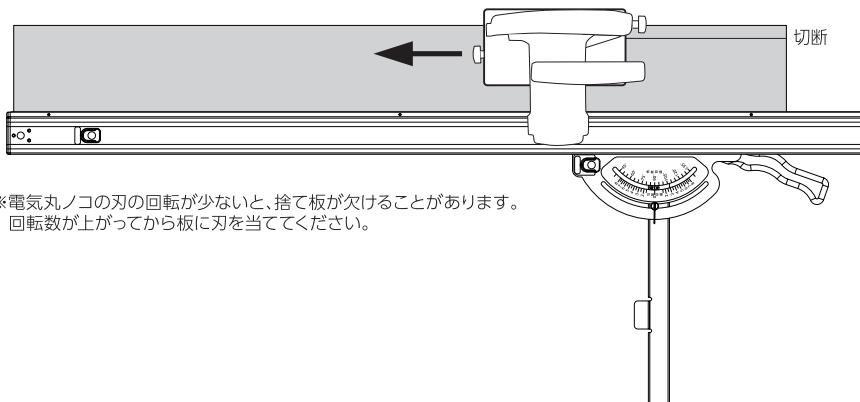
## ■仕様

品 番	78450	78451
角度精度	90°において1,000mmにつき3.5mm以下	
材 質	本体:ステンレス、アルミ ストッパーねじ:ステンレス、真ちゅう 引っ掛け部:ABS樹脂、ステンレス 固定カバー、端面キャップ:ABS樹脂 捨て板:ポリカーボネート樹脂	
本体サイズ	1,230×425×30mm	1,460×425×30mm
製品質量	2,200g	2,500g
付属品	捨て板 1枚 1,100×130×2mm	捨て板 1枚 1,300×130×2mm

お問い合わせ  
**シンワ 测定株式会社**  
**0120-666899**  
受付時間(土日祝日除く)  
AM8:30～PM5:00  
**シンワ 测定株式会社**  
〒955-8577  
新潟県二条市興野3-18-21  
URL <https://www.shinwasokutei.co.jp>  
MADE IN JAPAN

## ■捨て板の事前準備

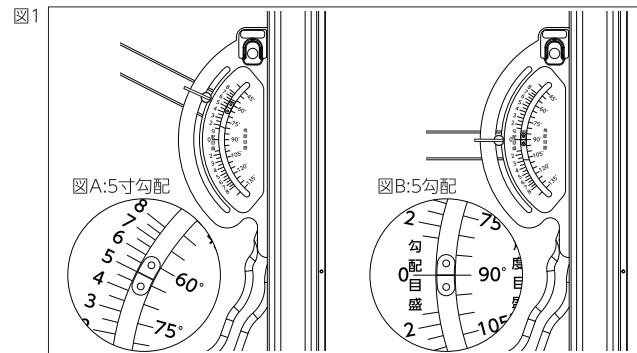
使用する電気丸ノコで、本体に沿って捨て板を切断してください。捨て板を切断することで、切り出し位置合わせが容易に行えます。



※電気丸ノコの刃の回転が少ないと、捨て板が欠けることがあります。  
回転数が上がってから板に刃を当ててください。

## ■使用方法

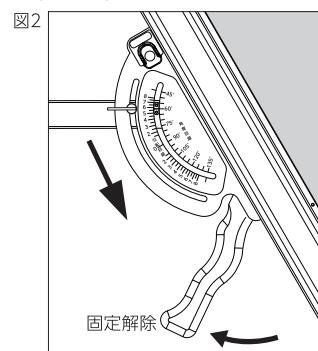
- ①切断する角度に、基準目盛を合わせてください。
- ②ストップーネジを締め、角度を固定してください(図1参照)。



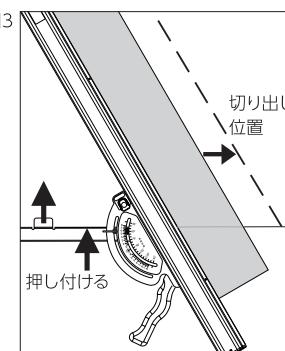
5度勾配で切削したい時は図Aのように基準目盛を合わせます。  
90°で切削したい時は図Bのように基準目盛を合わせます。

※ストップーネジをしっかりと締めてください。ネジが緩むと正確な角度で固定できません。

- ③固定レバーを固定解除側に動かし、切削するボードが挟まる程度に広げてください(図2参照)。



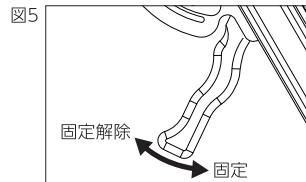
- ④アームをボードの側面に押し付けます。
- ⑤切り出し位置に捨て板の端を合わせます(図3参照)。



※アームとボードの間に、隙間がないようにしてください。隙間があると正確な角度で固定できません。

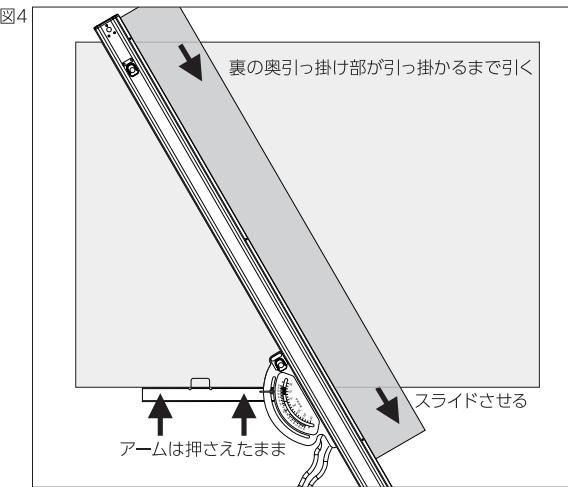
⑥アームを押し付けたまま、本体をスライドさせ、奥引っ掛け部をボードの縁に引っ掛け、奥引っ掛け部とアームでボードを挟み込んでください(図4参照)。

- ⑦本体を軽く押さえたまま、固定レバーを固定側に動かし、ボードに固定してください(図5参照)。



⑧本体とボードがしっかりと固定されたことを確認し、本体に沿ってボードを切削してください。

- ⑨切り終わったら、固定レバーを固定解除側へ動かし、固定を解除してください(図5参照)。



## ■針固定ボタンによる固定

レバーの固定だけでは固定が不確実な時は、針を押し込むことで確実に固定できます。

※針固定ボタンの固定方法は、■使用方法⑦の代わりに、奥と手前の針固定ボタンを押し、板に針を差し込んでください。  
※外す時は本体ごと上に持ち上げて、板から抜いてください。

## ■可動部の清掃方法

- ①可動部側の、端面キャップを抜き取ります。
- ②固定レバーを固定解除側に回し(図6参照)可動部の固定を解除し、端面キャップを外した側から可動部を抜き取ります。  
この時、広げ板(2枚)バネ(1個)をなくさないように注意してください。
- ③外した部品に付いているゴミなどの付着物を取り除きます。
- ④外した広げ板とバネを元の場所に入れます。この時、広げ板の向きに注意してください。
- ⑤可動部を本体に取り付けます。入らない場合は、広げ板の向きが正しいか確認してください。
- ⑥端面キャップを差し込み、ネジで固定します。

